

令和 4 年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価等報告書

点検・評価対象年度：令和 3 年度（2021 年度）

令和 4 年 12 月
湯前町教育委員会

目 次

はじめに	
点検及び評価の概要について	・ ・ ・ ・ ・ P2
I 教育委員会の活動状況について	・ ・ ・ ・ ・ P4
II 教育施策の推進状況について	・ ・ ・ ・ ・ P8
1 学校教育の振興	
（1）校内研修の充実と学力向上	
（2）小中一貫教育の推進	
（3）地域とともにある学校づくり	
（4）人権教育の推進	
（5）食育の推進	
（6）学校教育施設・設備の整備	
（7）奨学金の運用状況	
2 社会教育の振興	・ ・ ・ ・ ・ P17
（1）青少年の健全育成	
（2）読書活動の推進	
（3）人権教育の推進	
（4）地域学校協働本部事業と家庭教育の推進	
（5）社会教育施設の充実	
3 社会体育の振興	・ ・ ・ ・ ・ P22
（1）スポーツ団体の充実と活性化	
（2）体育施設の整備、維持管理	
（3）湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況	
4 文化財保護と文化振興	・ ・ ・ ・ ・ P26
（1）文化財愛護意識の向上	
（2）未指定文化財の調査	
（3）指定文化財の維持管理	
（4）文化団体の育成	
（5）湯前まんが美術館事業の充実	
5 総 括	・ ・ ・ ・ ・ P30
III 指標の達成状況一覧	・ ・ ・ ・ ・ P31
IV 学識経験者意見	・ ・ ・ ・ ・ P35
V 資料等	・ ・ ・ ・ ・ P36

はじめに

このたび、湯前町教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 26 条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめました。

この点検及び評価は、令和 3 年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」に関して実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する地域住民への説明責任を果たすことを目的としています。

教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、地域住民に公表することとしています。

また、この点検及び評価の結果を今後の教育委員会活動や教育施策に十分に反映させることで、本町における教育施策が、地域住民の皆様方の御理解の下に、適切・円滑に推進できますよう、取組の強化を図っていきます。

点検及び評価の概要について

1 点検及び評価の対象並びに実施方法

本報告書では、「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」についての点検・評価の結果を掲載しています。このうち、「教育施策の推進状況」についての点検及び評価の実施方法は、次のとおりです。

（1）取組・事業評価

「第 6 次湯前町総合計画」に掲げられた施策を構成する主な取組・事業等について、点検及び評価を実施します。

（2）施策評価

（1）の結果を踏まえ、令和 3 年度の施策の取組状況について点検及び評価を実施します。

2 点検及び評価の方法並びに評価の観点

点検及び評価に際しては、施策の必要性や効率性、有効性や公平性といった観点から客観的な評価がなされるよう配慮しています。また、対象となる施策を構成する主な取組・事業等の推進状況についての点検及び評価を通じて、施策自体に関する点検及び評価を実施することとしています。

3 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

地教行法第 26 条第 2 項が規定している「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、学識経験者からの意見書を求める方式を取っています。

なお、今回の意見書については、次の 3 名の方に執筆をお願いしました。

高木 堅介 氏 学校関係者（湯前町 PTA 連絡協議会長）（保健福祉課長）
苗床 由美 氏 社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富 氏 社会体育関係者（湯前町体育協会会長）（社会教育委員）

I 教育委員会の活動状況について

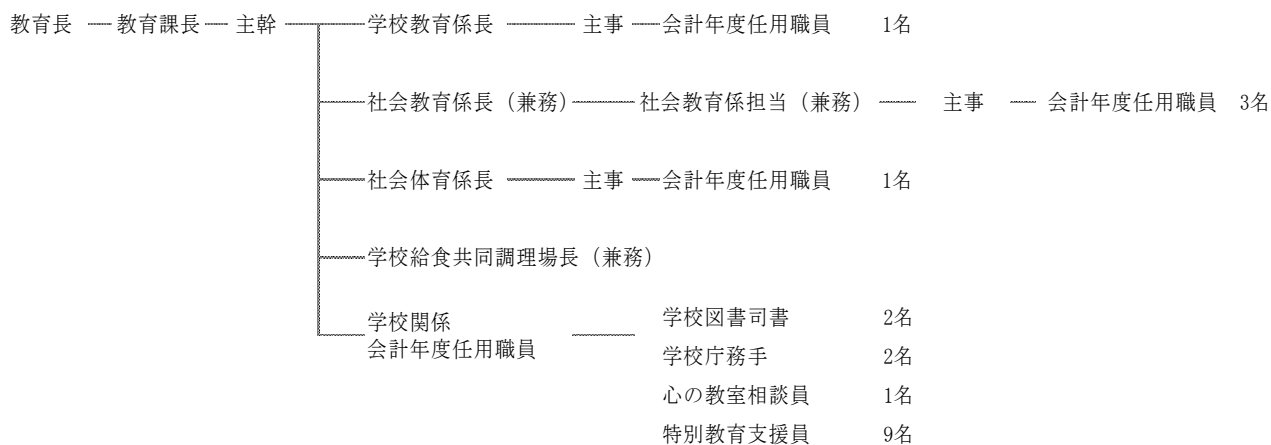
1 教育委員会組織

教育委員会組織（令和3年度）

（令和3年4月1日現在）

職名	氏名	現行任期		期数
教育長	中村 富人	R 1 . 7 . 1	R 4 . 6 . 3 0	1期
教育委員（職務代理者）	村井 信照	R 2 . 6 . 2 5	R 6 . 6 . 2 4	4期
教育委員	林 敦子	R 3 . 1 2 . 1 6	R 7 . 1 2 . 1 5	3期
教育委員	藤岡 祐子	R 1 . 1 2 . 1 9	R 5 . 1 2 . 1 8	1期
教育委員	堤田 秋男	R 3 . 2 . 2	R 7 . 2 . 1	1期

（参考：教育委員会部局組織図）



2 教育委員会の開催状況

(1) 定例会・臨時会

開催月	会議番号	会議種	開催日	議事内容	議決結果
4	5	定例	4月27日	議案第7号 令和3年度湯前町立小中学校指導の重点と重点努力事項について	可決
				議案第8号 令和3年度湯前町奨学生選考委員の選任について	可決
				報告第3号 令和3年度社会教育・社会体育事業計画について	-
5	6	定例	5月26日	議案第9号 令和3年度湯前町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について	可決
				議案第10号 湯前町地域学校協働推進員の委嘱について	可決
				議案第11号 湯前町学校運営協議会委員の委嘱について	可決
6	7	定例	6月28日	議案第12号 令和3年度湯前町教育委員会が行う学校訪問について	可決
				議案第13号 湯前町教育支援委員会委員の選任について	可決
				議案第14号 特別支援教育奨励費の認定について	認定
				議案第15号 就学援助費の認定について	認定
7	8	定例	7月29日	報告第4号 地域活性化起業人制度について	-
				報告第5号 地域活性化起業人制度について	-
				報告第6号 B&G財団会長杯第57回秋季球技大会について	-
				報告第7号 B&G所在自治体偉人漫画制作事業について	-
8	9	定例	8月23日	報告第8号 夢創出事業について	-
				報告第9号 湯前町全国スポーツ大会等出場奨励金交付要項の改正について	-
9	10	定例	9月27日	報告第10号 湯前町文化財振興補助金交付要項の制定について	-
				報告第11号 令和3年度湯前町一般会計補正予算(第4号)について	-
10	11	定例	10月25日	議案第16号 社会教育委員会委員の委嘱について	可決
				報告第12号 湯前町教育委員会事務局職員の異動について	-
11	12	定例	11月25日	議案第17号 湯前町立小・中学校管理規則の一部改正について	可決
				議案第18号 湯前町立小・中学校県費負担教職員の訓告等取扱規程の制定について	可決
				議案第19号 独立行政法人日本スポーツ振興センターの共済掛金の徴収に関する規則の制定について	可決
12	13	定例	12月21日	議案第20号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等報告について	可決
				議案第21号 就学援助費の認定について	認定
1	1	定例	1月25日	議案第1号 就学援助費の認定について	認定
				報告第1号 那須良輔偉人漫画制作について	-
2	2	定例	2月22日	議案第2号 就学援助費の認定について	認定
				議案第3号 令和4年度当初予算要求について	可決
				報告第2号 令和3年度熊本県学力・学習状況調査結果について	-
2	3	臨時	2月28日	議案第4号 令和4年度教職員の異動について	可決
3	4	定例	3月23日	議案第5号 湯前町立学校医の委嘱について	可決
				議案第6号 湯前町学校運営協議会委員の委嘱について	可決
				議案第7号 湯前町地域学校協働活動推進員の委嘱について	可決
				議案第8号 湯前町地域学校協働本部運営委員の委嘱について	可決
				議案第9号 湯前町文化財保護委員会委員の委嘱について	可決
				議案第10号 湯前町スポーツ災害委員会委員の委嘱について	可決
				議案第11号 那須良輔作品の利用に関する規程の制定について	可決
				議案第12号 第57回春季球技大会について	可決
				報告第3号 那須良輔偉人マンガ制作事業について	-
報告第4号 令和3年度湯前町スポーツ災害見舞金について	-				

(2) 研修等・事業活動

- ① 研修等 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし
- ② 事業活動
 - ・学校訪問

対象学校	実施年月日	主な内容
湯前小学校	令和3年10月5日	諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導
湯前中学校	令和3年10月7日	諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導 給食試食

(3) 総合教育会議

開催回数 1回 開催年月日 令和3年8月23日 会場 湯前町役場応接室

出席者 湯前町長 長谷 和人
 湯前町教育長 中村 富人
 湯前町教育委員会委員 村井 信照
 湯前町教育委員会委員 林 敦子
 湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子
 湯前町教育委員会委員 堤田 秋男

委員以外の出席者

湯前町副町長 富安 智詞
総務課長 高橋 誠
教育課長 中園 誠二
教育課主幹 浅田 徹
企画観光課係長 岩野 浩平
企画観光課主事 滝上 紘史

議事

- ① 第6次湯前町総合計画及び第2期湯前町総合戦略並びに湯前町過疎地域持続的発展計画策定について
- ② 湯前小学校外部改修工事の進捗について
- ③ 情報教育（ICT教育）及び特別支援教育（特別支援教育支援員）について

(4) 教育委員会事務等点検・評価

開催回数 2回

開催年月日

第1回 令和3年12月10日

第2回 令和3年12月17日

点検評価員（知見を活用する学識経験者）

氏名	所属等
黒木 真也	学校関係者（湯前中学校 PTA 会長）
橋田 實子	社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富	社会体育関係者（湯前町体育協会会長）（社会教育委員）

II 教育施策の推進状況について

1 学校教育の振興

学校の状況（児童・生徒数・学級編成・教職員等）

(1) 湯前小学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く

徳・知・体の調和のとれた児童の育成

（小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通）

学級編成

学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
湯前小学校	20	30	21	24	34	28		
知的1～3	知的4～6	自情1～2	自情3～4	自情5～6	弱視(4)	計	特別支援教育児童	
4	5	6	8	3	1	184	27	14.7%

児童・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
令和2年度	児童数	21	21	33	28	28	25	26	182
	学級数	1	1	1	1	1	1	5	11
令和3年度	児童数	30	21	22	34	28	28	29	192
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	12
令和4年度	児童数	20	30	21	24	34	28	27	184
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	12

教職員数

校長	教頭	教務主任	研究主任	事務主幹	養護助教諭	栄養教諭	学級担任	計
1	1	1	1	1	1	1	12	19
特別支援教育支援員		学校事務	庁務手	計	合計			
6		1	1	8	27			

(2) 湯前中学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた生徒の育成

(小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通)

学級編成

学校	1年	2年	3年	合計
湯前中学校	24	34	26	84
特別支援	1	3	3	7
計	25	37	29	91

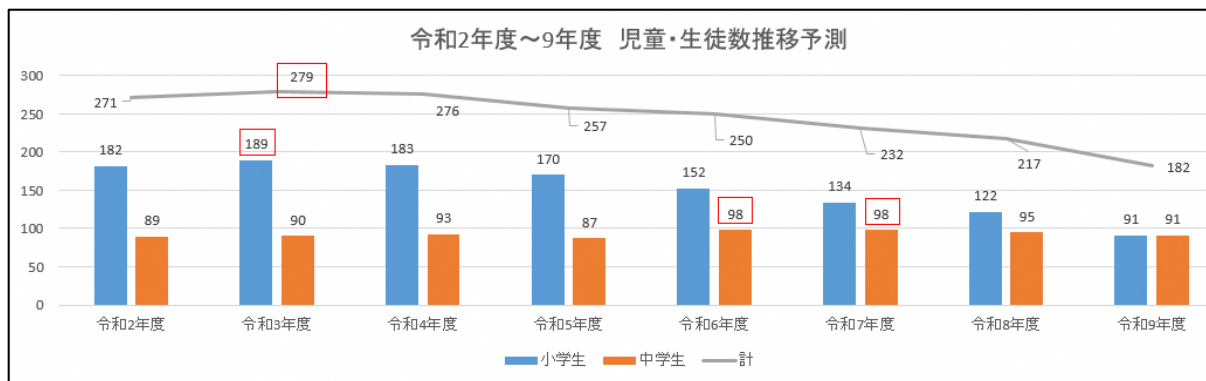
生徒・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	特別支援学級	計
令和2年度	生徒数	34	26	22	8	90
	学級数	1	1	1	3	6
令和3年度	生徒数	24	34	26	7	91
	学級数	1	1	1	3	6
令和4年度	生徒数	29	25	34	5	93
	学級数	1	1	1	2	5

教職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	養護助教諭	事務職員	計
1	1	9	1	2	1	1	16
特別支援教育支援員		学校事務	庁務手	計	合計		
3		1	1	5	21		

(3) 児童・生徒数の推移予測 (住民基本台帳を基礎として算定)



総括（令和 3 年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

学校教育については、児童生徒の学力と心身の育成のための経常的な施策のほか、地域とともにある学校づくりを進めるために、地域学校協働活動の充実や湯前町学校運営協議会において学校経営方針の協議等を行いました。また、各種行事の合同開催や交流授業などにより、小中一貫教育の推進を図りました。

外国語・英語教育では、外国語指導助手派遣委託を継続し、英語教育の強化を図るため小中学校英語検定料補助を実施し延べ 24 名が受験をしました。

令和 3 年度からふるさと納税を財源とした子育て世代への支援事業を始め、小中学校新入学生の保護者 56 名に入学祝い金を支給し、修学旅行に参加した小学 6 年生の保護者 29 名に費用の定額補助を行いました（中学校修学旅行は令和 4 年度に延期）。また、小中学生が一流のスポーツや文化等に触れることができる機会を設け、夢を持つきっかけづくりや将来の可能性を広げていくことにつながるための夢創出事業を開始し、令和 3 年度は外部講師を招いて、夢についての講演会を小学 5 年生から中学 3 年生までを対象として実施しました。

また、管内の高校等に公共交通機関を利用して通学する生徒への支援として、延べ 188 名に通学定期券代の一部補助を行いました。

GIGA スクール構想の取り組みとして、児童生徒へ 1 人 1 台のタブレット端末の整備、各教室の電子黒板の配備や中学校に学習支援ソフトウェアを導入し ICT 教育の充実を図りました。

学校施設整備については、小学校校舎の長寿命化型改修工事をはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中学校体育館トイレ改修工事及び放送室改修工事を実施しました。また、各工事と併せ換気扇改修や空気清浄機の導入等を行いました。

学校給食では、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた安心安全でおいしい給食の提供とともに、配膳、会食、後片付けを通じた協調性や社会性の涵養、食事マナーの習得など食に関する「生きた教材」として、学校教育活動の重要な役割を担っており、令和 2 年度から継続して学校給食費補助を行いました。

進学意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会均等に寄与するとともに、有望な人材を育成することを目的として新たに奨学金 2 件の貸付を行いました。

(1) 校内研修の充実と学力向上

① 校内研修の実施状況

○ 湯前小学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めることによって学校教育の充実を図る。

・研修の視点

本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修

教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修

児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修

学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

・研修の基本方針

全職員共通理解のもと、児童の実態から浮かび上がってくる課題を改善できるよう研究を進めていく。

研究の深まりや実践が児童に反映され、また、児童の変容によって研究・実践の結果が見て取れるよう進めていく。

人権教育研修の推進

特別支援教育研修の推進

道徳教育研修の推進

実践研修を取り入れ、指導技能の向上を図る（情報教育等）

保育園等、中学校等との連携を図り、研究・情報交換の場をもつ

各種研究会の報道の機会を設け、全体に広める

・課題研修（研修主題）

自分の思いや考えを持ち、相手や目的に応じて表現できる児童の育成

～書く力を高める授業づくりの工夫～

・研修計画 中研（学年単位等の研修）1回・大研（学校全体での研修）4回

・研修実績 28回

○ 湯前中学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研究主題

「自己実現に向け、意欲をもって共に学び、高めあう生徒の育成」
～主体的・対話的で深い学びのための授業改善をめざして～

・主題設定理由

今までの研究から
新学習指導要領と熊本の学び推進プランから
文部科学省の GIGA スクール構想から

・研究の仮説

授業者が主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行うことで、「支えあう力」「やりきる力」「伝える力」を育てることができ、自己実現に向け、意欲をもって共に学び、高め合う生徒が育成できる。

ユニバーサルデザインの視点から、生徒の学習環境や生徒同士の関係がよくなるための手立てを行えば、支持的・対話的風土ができ、互いにより深く学び合うことができる。

・研修計画 校内研修 20 回

・研修実績 校内研修 20 回

② 学力向上に向けた実施状況

○ 湯前小学校

・当該年度の重点事項

自ら学ぶ態度：実態把握、教育相談、達成感のある授業、家庭学習の習慣化

基礎・基本の定着：読み書き、計算、めあて、振り返り、補充指導

思考力・判断力・表現力の向上：ノート指導、評価方法の工夫、発信・表現の場

○ 湯前中学校

・標準学力検査

〈分析と対策〉

全学年、全教科において全国標準である 50 を超える、または近い結果を示した。しかしながら、教科による得意・不得意、男女差が見られることが課題としてあげられる。学校総体とした授業改善、家庭学習の充実を推進していく必要がある。

・全国学力・学習状況調査

〈学力の向上に向けて〉

読む力を高める読書活動のさらなる推進

授業での「振り返り」の時間の充実

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

〈学習に対する主体性の向上に向けて〉

各教科の学習が社会で役立っていることを知り、将来を見通す学習を推進する。

全学年・全教科で、学習に対する興味・関心を高める授業を行っていく。

（２）小中一貫教育の推進

① 6月 プール掃除を小中同日実施

② 11月 合同地震避難訓練

③ 2月 リモートで中学校説明会

④ 交流授業 小学6年生：3日間・小学5年生：3日間

⑤ 合同職員会議

⑥ 中止した行事

中学校入学式への小6参加、合同見知遠足、中学校文化祭への小学生来場、小学校卒業式への中学生出席

（３）地域とともにある学校づくり

① 学校運営協議会の開催 3回

② 地域学校協働活動の実施状況 別紙資料 P47

（４）人権教育の推進

① 人権教育推進活動の実施状況

・人権教育に関する研修（教職員） 小学校：16回 中学校：6回

・人権集会 小学校：学期に1回 計3回 中学校：1回

・人権の花実践校（小学校）

(5) 食育の推進

① 食育推進活動の実施状況

- ・野菜の栽培活動
- ・栄養教諭による食育指導（各学年）
- ・「ふるさとくまさんデー」などで地元食材を活用、地産地消を推進し、給食だよりで周知啓発した。

② 学校給食の状況

- ・給食回数 小学校：188回・中学校：185回
- ・給食費 小学校 46,200円（人／年額）・中学校 55,000円（人／年額）
- ・学校給食共同調理場運営委員会 開催回数2回
- ・学校給食補助事業

単位：人・円

区 分		令和3年度決算
一般給食費補助金	人数	219
	金額	3,214,560
特別支援教育奨励費	人数	25
	金額	596,338
準要保護費	人数	35
	金額	1,603,042
計	人数	279
	金額	5,413,940

(6) 学校教育施設・設備の整備

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
湯前小学校長寿命化型改修事業	屋上・外壁改修	100,964
湯前中学校体育館トイレ改修工事	体育館トイレ新設	15,113
湯前中学校放送室改修工事	放送室改修・空調設備	3,762
湯前中学校鉄骨構造改修工事	鉄骨構造補強改修	1,538

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
湯前小学校長寿命化型改修事業	100,964	30,300	70,200	0	464
湯前中学校体育館トイレ改修工事	15,113	15,113	0	0	0
湯前中学校放送室改修工事	3,762	3,762	0	0	0



着工前 北面全景



竣工 北面全景

(7) 奨学金の運用状況

進学の意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会均等に寄与するとともに、有望な人材を育成することを目的として新たに奨学金 2 件の貸付を行いました。

○基金の額

令和 2 年度末	免除額	取崩・繰出	令和 3 年度末
70,000,000 円	0 円	0 円	70,000,000 円

○運用状況

前年度末現金残高	29,749,582 円 ①
当年度繰出額	0 円 ②
当年度貸付額	2,960,000 円 ③
当年度償還額	7,492,360 円 ④
当年度末現金残高	34,281,942 円 ⑤=①-②-③+④

《貸付の状況》・奨学金 6 人 (延べ 38 人) ・入学準備金 0 人

《滞納の状況》・滞納者実人員 1 人 ・滞納額 220,000 円

《債権管理状況》・借用証書

《運用収益状況》・基金利子を一般会計へ

2 社会教育の振興

総括（令和3年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

社会教育の振興施策については、公民分館活動の振興を通じたスポーツ活動や花づくり活動等の地域コミュニティ活性化を図るため、公民分館活動振興補助金並びに花づくり奨励金を交付し振興を図りました。

また、公民分館活動の拠点である施設の充実を図るため、2分館に分館施設整備補助金を交付し整備を行いました。

生涯学習では、一般成人を対象に13講座を開設し、受講生の知識や健康増進の向上を図りました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開講式や閉講式、秋の文化祭も中止になりましたが、新生活様式の徹底を図りながら三密を避け講座ごとにその成果を分散発表することで成果発表の場を醸成し、学習意欲を高めることができました。

また、青少年を対象に1教室、家庭教育学級1教室を開催し、人づくりに努めました。青少年の健全育成では、青少年の非行や犯罪を防止するために地域の方々と連携し、非行防止運動の啓発などに努めました。

読書活動については、図書室だよりを発行、お勧めの図書や新刊案内等を掲載し利用の増加促進を図りました。また、図書室の壁面や図書の並べ方の工夫も行いました。

人権教育では、町人権教育推進協議会を中心として職員研修会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となりました。令和2年度に引き続き人権啓発事業として、湯前町図書室に人権推進協議会より図書を寄贈いただき、人権図書コーナーを設置しました。

また、地域の偉人についてマンガを通じて学ぶことで地域への関心・理解を深め郷土愛を育むことを目的とし、本町出身の風刺漫画家「那須良輔」の生涯を描く偉人マンガをB&G財団助成事業を活用し制作しました。完成したマンガは小・中学校の全校生徒に配布を行い、次年度以降の成人式等でも配布を計画しています。また、各種事業で偉人マンガを活用することで、那須良輔への理解を深めるとともに「まんがのまちづくり」の振興を図ります。

(1) 青少年の健全育成

青少年の健全育成に係る組織の状況

① 団体名称：湯前町青少年育成町民会議

② 設置目的

この会議は、青少年問題の重要性にかんがみ広く町民の総意を集結し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

③ 所管事業

- ・ 青少年の誇りと自覚を高めるための事業
- ・ 青少年団体の育成を図り青少年の参加を促進するための事業
- ・ 青少年のスポーツ、レクリエーション及び健全な遊びを進めるための事業
- ・ 職場における青少年の教育、福祉を図るための事業
- ・ 健全な家庭づくりを促進するための事業
- ・ 青少年に有害な社会環境の浄化を進めるための事業
- ・ 青少年の非行防止を進めるための事業
- ・ 青少年の事故防止を進めるための事業
- ・ その他この会議の目的を達成するための事業

④ 令和3年度事業実績

青少年育成会議事業

期 日	事 業 名	場 所	備 考
5/19~5/29	県青少年育成県民会議総会	【書面開催】	
7月9日	湯前町青少年育成町民会議総会	【書面開催】	承認：71 承認しない：1
7月~8月	青少年健全育成県民総ぐるみ運動	旬報記事掲載 (7/15.8/1)	県、県青少年育成県民会議主催
7月~8月	社会を明るくする運動	町内	幟設置によるPR
9月4日	第43回「少年の主張」熊本県大会	八代市公民館 【欠席】	県、県教育委員会 県青少年育成県民会議主催
11月	子ども・若者育成支援強調月間		内閣府主催
表彰のみ	青少年健全育成県民フォーラム		県、県青少年育成県民会議主催
中止	子どもと高齢者のふれあい交流会	小学校体育館	
少年補導委員・防犯警ら隊		休み期間中の夜間パトロール	

協賛事業

期 日	事 業 名	場 所	備 考
6月~10月	B&G海洋クラブ	町内ほか	B&G主催

(2) 読書活動の推進

- ① 中央公民館図書室利用状況 666人 貸出図書数 1,855冊
- ② ブックスタート事業実績 3回(5月・11月・3月) 計：親子 14組

(3) 人権教育の推進

人権教育の推進に係る組織の状況

- ① 団体名称：湯前町人権教育推進協議会

- ② 設置目的

本会は、湯前町内における人権教育を社会教育・学校教育・就学前教育の両面から推進することを目的とする。

- ③ 所管事業

- ・人権教育の研修に関すること。
- ・人権教育の広報活動に関すること
- ・その他目標達成に必要なこと。

④ 令和3年度事業実績

期 日	区分	事 業 名	場 所
4月22日	郡市	人球人権研究協議会第1回代表者会議	人吉市
4月30日	町	湯前町人権教育推進協議会会計監査	湯前町
5月7日	郡	人吉球磨人権教育研究協議会上球磨ブロック担当国会議	湯前町
5月26日	郡市	【書面開催】人球人権研究協議会第2回代表者会議	
6月4日	県	【書面開催】熊本県人権教育研究協議会第51回総会学習会	
7月	郡市	(中止)人吉球磨人権教育研究協議会研究大会	
	郡	(中止)人吉球磨人権教育研究協議会分科会上球磨ブロック	
7月15日	県	人権教育行政担当者研修会	熊本市
10月20日	郡市	人球人権研究協議会第3回代表者会議	人吉市
11月	町	【書面開催】湯前町人権教育推進協議会総会	
	県	【録画配信】部落解放第33回熊本県研究集会	

(4) 地域学校協働本部事業と家庭教育の推進

① 地域学校協働本部事業の実施状況 別紙資料 P47

② 家庭教育の推進 (親の学び事業の実施状況)

市町村名	就学前 実施率	実施 園数	幼 保 園 数	小学校 実施率	実施 校数	小 学 校 数	保護者対象			生徒対象		
							中学校 実施率	実 施 校 数	中 学 校 数	次世代編 実施率	実 施 校 数	中 学 校 数
湯前町	0 %	0	2	100 %	1	1	0 %	0	1	0 %	0	1

(5) 社会教育施設の充実

※ 令和3年度特記する事業はありませんでした。

3 社会体育の振興

総括（令和3年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

社会体育では、町民の健康増進、体力の保持や向上等を目的として、体育協会やスポーツ推進委員の協力により春・秋球技大会、町民体育祭を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、町内駅伝大会以外の事業は中止となりました。

体育協会や総合型地域スポーツクラブを活用した教室や体験会などは一部利用者の制限や時間制限など感染拡大防止対策を実施し縮小した活動となりました。体育協会の会員数は、294人となり減少傾向があるものの、総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ「だんだん」（以下、「だんだん」）では、平成31年度から熊本県下の小学校運動部活動が社会体育への移行を契機に児童向けの教室が新規で開設したことなどから児童会員が増加、会員数は131人となり児童を中心とした運動コミュニティの活性化を図ることができました。

地域指導者の協力を得て週に2回放課後の時間帯に小学校体育館をメイン会場として開催される「総合運動クラブ」は全53回開催し、延べ1,394人の児童が参加しました。

令和3年度からの新たな試みとして、地域活性化起業人制度を活用し株式会社ルネサンスと協定を締結しました。これは「健康のまちづくり」を目的に企業からの人材派遣によってスポーツ実施率の低迷などの地域課題を解決するものです。企業との協働で高齢者・働き世代や女性、親子などを対象とした新規教室を開催し、各公民分館で開催される「いきいき教室」へ講師派遣を行うなど小さなコミュニティ内での健康づくり活動を実施いたしました。各教室には延べ高齢者594人（82教室）、働き世代45人（10教室）、親子78人（10教室）が参加し、これまで社会体育事業としてアプローチできなかった対象者へ運動指導を実践しています。

地域間連携での体育事業については、新規事業となる奥球磨駅伝競走大会はじめ奥球磨ロードレース大会や球磨一周駅伝大会など、球磨人吉管内市町村との連携によるスポーツ事業も計画していましたが中止・延期となりました。

B&G 関連事業では、海洋性レクリエーションの機会提供や、地域児童や住民を対象とした海洋クラブ活動、地域河川を利用した SUP 体験会を実施しました。また、水難事故の防止を目的に「水辺の安全教室」を上球磨消防署の協力のもと開催し、自らの命を守る自助意識の普及と海洋性レクリエーション活動の推進に努めました。

そのほかにも、B&G 海洋クラブや指導者会協力のもと学童クラブと連携した「BG 塾」を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で体験活動の機会に恵まれない児童に向けた体験機会の提供と、水辺の安全など生きる力を学ぶ事業を実施いたしました。

(1) スポーツ団体の充実と活性化

① 総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ

「だんだん」の定期的・継続的な活動【令和3年度末時点（数字）は実人数】

種 目	参加者数
総合運動	44
軟式野球	19
野球教室	11
ソフトテニス	26
バドミントン	9
フットサル	18
トランポリン	22
ボウリング	7
歌声	5
水泳・水中運動	4
計	165 (131)

② 町スポーツ推進委員の会議開催及び研修会参加

定例会議 5回

郡理事会 2回

書面開催 郡推進委員連絡協議会総会・九州地区スポーツ推進委員研究大会

研修会 県推進委員研修会1回・地域スポーツ指導者研修会1回

③ 各種大会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、春季球技大会・秋季球技大会・町民体育祭は中止となりましたが、町内駅伝大会は7地区6チームと球磨一周駅伝1チームの参加で開催されました。

④ 小学校運動部活動の社会体育移行

小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、「だんだん」を受け皿とした総合運動クラブによるコーチ部会の組織と児童への指導を実施

(2) 体育施設の整備、維持管理

※ 令和3年度特記する事業はありませんでした。

令和3年度社会体育施設利用状況

単位：人・円

区分	体育館		プール		グラウンド		テニス		合計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
4月	825	8,680	-	-	366	20,680	135	1,660	1,326	31,020
5月	608	5,170	-	-	333	29,860	79	1,150	1,020	36,180
6月	738	10,380	641	51,820	461	33,600	3	1,240	1,843	97,040
7月	1,139	20,310	2,521	183,390	273	11,900	132	620	4,065	216,220
8月	854	17,250	1,527	98,990	514	32,220	94	930	2,989	149,390
9月	784	7,970	371	26,850	336	28,640	117	310	1,608	63,770
10月	1,146	15,240	17	0	631	37,150	106	830	1,900	53,220
11月	1,153	19,740	-	-	719	67,780	48	1,970	1,920	89,490
12月	781	8,590	-	-	631	9,600	3	420	1,415	18,610
1月	637	8,850	-	-	308	7,520	11	1,970	956	18,340
2月	632	5,250	-	-	264	6,740	78	930	974	12,920
3月	757	5,560	-	-	433	13,440	109	1,680	1,299	20,680
計	10,054	132,990	5,077	361,050	5,269	299,130	915	13,710	21,315	806,880

(3) 湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況

○運用状況

前年度末基金残高	17,094,794円 ①	
当年度収入額	144円 ②	預金利息
当年度支出額	23,300円 ③	見舞金1件
当年度末基金残高	17,071,638円 ④ = ①+②-③	

湯前町スポーツ災害見舞金は、スポーツ事故により、害を受けた者又はその遺族に対して見舞金を支給する制度です。町、町教育委員会、湯前町体育協会、地区・分館が主催・共催するスポーツ大会、及び町代表として参加した郡、県、全国大会の練習及び競技中、生命又は身体に障害を受けた事故の被害者又はその遺族に対して支給されます。

4 文化財保護と文化振興

総括（令和3年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

文化財保護については、ふるさと納税を財源として町指定無形民俗文化財浅鹿野棒踊りの保存記録事業に着手し、聞き取り調査や採譜等を行いました。また湯前町文化財振興補助金交付要項を制定し、各種補助を実施しました。指定文化財は文化財保護委員による定期的な巡回の実施により、文化財の保存に努めました。

文化財建造物の保存活用では、前年度から引き続き下里御大師堂保存修理工事及び工事見学会を開催しましたが、修理期間が不足したため令和4年度へ事業繰越を行いました。また、熊本県指定文化財の木製弘法大師坐像修理に下里区が事業主体となって着手しましたが、修理期間が不足し令和4年度へ事業繰越を行いました。このほかに城泉寺周辺整備として、駐車場内に公衆トイレを整備しました。

まんが美術館では、新型コロナウイルスの影響により再三の休館を余儀なくされましたが、令和2年度からの繰越事業でエントランスホールの自動ドア改修工事を行い、10月1日から12月19日にかけて特別展示「ギガタウンフロムテラタウンこの史代の漫符図譜」を開催しました。

また、収蔵資料の充実を図るため、令和2年度に引き続き文化庁補助事業を活用したアーカイブ事業に取り組み、その成果により那須良輔の価値を整理することができました。このほかにも、熊本県博物館ネットワークセンターの支援により、まんが美術館の紹介動画を制作しました。

第30回を数えた風刺漫画大賞では544点の応募があり、「新型コロナ」、「東京オリンピック」、「猛暑」や「災害」など、時世を表す多くの作品が集まりました。例年風刺漫画大賞の表彰は漫画フェスタ内で実施していましたが、漫画フェスタが中止となったため「くま川鉄道部分運行再開記念イベント」内で表彰を実施しました。また、文化振興の一環として、文化庁の芸術巡回公演事業に応募し小中学生が文化芸術に触れる機会を設けました。

(1) 文化財愛護意識の向上

令和3年度文化財愛護意識に係る町民アンケートの実施はありませんでした。

(2) 未指定文化財の調査

令和3年度未指定文化財の調査事業は実施しませんでした。

(3) 指定文化財の維持管理

① 湯前町文化財保護委員会を2回開催し、文化財施設パトロール及び指定文化財に係る修理事業等の調査協議を実施しました。

② 指定文化財の維持管理事業

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
下里御大師堂解体保存修理事業	堂宇解体保存修理	52,287
木造弘法大師坐像修理（下里区）	弘法大師坐像修理	(3,496) ※
湯前町文化財振興補助事業	施設維持管理・地域行事 民俗文化財継承活動・協議会活動	371
民俗文化財記録作成事業	浅鹿野棒踊り調査記録	200

※ 木造弘法大師坐像修理は下里区が事業主体の事業（町補助金額1,275千円）

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
下里御大師堂解体 保存修理事業	52,287	25,250	25,000	0	2,037

(4) 文化団体の育成

文化団体の状況

① 団体名称：湯前町文化協会 【会員数：2 団体・146 名】

② 設置目的

本会は、文化関係団体（個人も含む）機関の相互の連絡調整を図ると共に文化の振興に寄与することを目的とする。

③ 所管事業

- ・文化事業の主催並びに後援
- ・文化高揚に関する啓発宣伝
- ・町内各種文化団体並びに文化機関の相互の連絡調整と情報交換
- ・その他本会の目的の達成に必要な事業

④ 令和 3 年度事業実績

総 会 1 回

理事会 2 回

役員会 18 回

行 事 湯前町文化祭 規模縮小・会場分散開催
生涯学習 11 講座・文化部会 13 部会

(5) 湯前まんが美術館事業の充実

① 美術館展示事業

常設展示

- ・第29回那須良輔風刺漫画大賞作品展 (3/6～8/31)
- ・令和2年アーカイブ事業成果展 (3/6～8/31)

特別展示

- ・「ギガタウンフロムテラタウンこうの史代の漫符図譜」(10/1～12/19)

令和3年度 湯前まんが美術館 利用状況

令和4年3月31日

区分 月	観覧者数						観覧料					備考
	大人	小人	団体(大人)	団体(小人)	免除	計	大人	小人	団体(大人)	団体(小人)	計	
4月	0	0	0	0	78	78	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のための臨時休館
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6月	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	
7月	0	0	0	0	221	221	0	0	0	0	0	第29回那須良輔風刺漫画大賞作品展(3/6～ 6/20、7/1～8/31)アーカイブ事業成果展(3/6～ 6/20、7/1～8/31)
8月	0	0	0	0	15	15	0	0	0	0	0	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	感染症拡大防止臨時休館
10月	90	21	0	0	15	126	27,000	2,100	0	0	29,100	10/1～12/19 ギガタウン フロム テラタウン
11月	116	19	0	0	20	155	34,800	1,900	0	0	36,700	10/1～12/19 ギガタウン フロム テラタウン
12月	93	11	0	0	3	107	27,900	1,100	0	0	29,000	10/1～12/19 ギガタウン フロム テラタウン 12/20～休館
令和4.1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のための臨時休館
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	299	51	0	0	362	712	89,700	5,100	0	0	94,800	

② 収蔵資料アーカイブ事業

那須良輔原画資料 7,116点

収蔵資料のデータベース及び電子画像化 2,700点 (進捗率: 38%)

③ 偉人マンガ制作・活用事業【B&G 財団助成事業】

『那須良輔-風を描く人』制作: 105頁 2,000冊・湯前まんが美術館 HP 掲載
(令和3年度海洋センター所在自治体による偉人マンガの制作と活用事業)

5 総括

(令和3年度一般会計決算書の主要な施策の成果より)

令和3年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルスの影響により、経済活動が停滞し、景気が大幅に後退しました。3回の新型コロナウイルスワクチン接種を実施し、少しずつ事業は動き始めているものの公共施設の閉鎖や利用者制限、大規模イベントの中止や見直し、飲食店への時短要請が実施されるなど、ウイルス拡大を防ぐための方策が次々と実行され、現在もなお経済活動が停滞している状況です。また、令和2年7月豪雨災害により、令和2年度に続きコロナ禍での災害復旧事業を強いられております。

引き続き、新型コロナウイルスで疲弊した経済活動の活性化と感染防止の対応と両立しながら、計画的な災害復旧と各種催しの再開、地域の魅力再発信に努めていかねばなりません。

このような中で湯前町では令和3年度を初年度とする7カ年のまちづくりの指針となる「第6次湯前町総合計画」を策定し、各種施策に取り組み、地域課題の解決に向けて様々な事業を行いました。

学校教育行政については、小中学校間の交流授業等により英語教育の強化と小中一貫の礎を築きながら、地域学校協働活動等による児童・生徒の郷土愛や学力の向上を図り、健全な成長を促進しました。また、小学校舎の長寿命化型改修や新型コロナウイルス対策での施設整備とGIGAスクール構想事業の推進を図りました。

社会教育行政等においては、前年度より下里御大師堂の保存修理工事を継続し、新たに城泉寺阿弥陀堂駐車場トイレの整備を行いました。また、生涯学習講座や青少年育成事業を行い、公民分館活動や町民相互の文化的活動の支援、親睦等も図りながら、住民の体力と健康の増進、幅広い世代の憩いの場となるようB&G海洋センターを中心として地域活性化起業人制度等を活用しながら関係機関と連携し様々な施策に取り組みました。

Ⅲ 指標の達成状況一覧

1 学校教育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状 (令和2年度以下同)	令和5年度目標値
小中一貫教育に対する保護者の満足度 (第二期総合戦略より)	—	75% (令和6年度目標値)
地域学校協働活動参加者数	—	600人 (令和6年度目標値)

令和3年度の状況

■小中一貫教育に対する保護者の満足度

湯前小学校保護者学校評価アンケート 中学校や地域との交流 $3.0 \times 25 = 75.0\%$

湯前中学校保護者学校評価2学期終了時点 小中連携の推進 $2.9 \times 25 = 72.5\%$

■地域学校協働活動参加者数 (児童生徒教職員を除く地域住民等) 延べ 525人

第6次湯前町総合計画検証報告

■小中一貫教育に対する保護者の満足度

内部検証	新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、可能な範囲での取り組みとなったが、保護者の評価は微増となり、今後への期待の声も聞かれた。
今後の方針	一小一中の強みをさらに生かし、取り組みの幅をさらに広げていく。
審議会意見	他町村では、小学校と中学校が一緒になるなど小中一貫の動きがあっている。本町においても、小中一貫に取り組んでもよいのではないかと考える。

■地域学校協働活動参加者数

内部検証	令和2年度の設立以来、着実に活動が活発になってきており、地域と学校、地域と児童生徒の関わりが増えてきている。
今後の方針	現在は、推進員やコーディネーターが学校に赴いて活動する機会が多いが、今後は児童生徒が地域(学校外)に出て活動する機会を作るなど、活動の幅を広げていく。
審議会意見	—

2 社会教育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
生涯学習講座の参加者数	185人	245人
図書館利用者数	837人	1,500人

令和3年度の状況

生涯学習講座の参加者数 延べ128人（実人員119人）

開講数14講座（英会話2教室で家庭教育学級を除く） 開催回数223回

延べ出席者数 1,396人

図書館利用者数 666人 貸出1,855冊

令和3年度末蔵書数14,040冊（うち令和3年度購入冊数166冊・廃棄463冊）

第6次湯前町総合計画検証報告

■生涯学習講座の参加者数

内部検証	新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限に加え、感染リスクを考慮し、参加を躊躇した人が増えたものと思われる。
今後の方針	感染対策に留意しながら、参加者数の回復に努めていく。
審議会意見	—

■図書館利用者数

内部検証	新型コロナ感染症の影響で、図書館の利用制限や休館などの措置を余儀なくされ、利用者数が減少した。
今後の方針	感染対策を取りながら、引き続き新刊の導入、広報活動に努めながら目標値の達成を目指す。
審議会意見	—

3 社会体育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
人口に対するスポーツ団体への加入率	15%	17%

令和3年度の状況 令和2年度：11.2% → 令和3年度：13.5%

第6次湯前町総合計画検証報告

■人口に対するスポーツ団体への加入率

内部検証	少子高齢化により加入率の増は厳しい状況であり、目標値をやや下回った。
今後の方針	地域おこし起業人事業等により住民の健康増進を図る新たな事業展開を検討している。
審議会意見	—

4 文化財保護と文化振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
湯前まんが美術館の入館者数	2,793 人	5,300 人
文化財行政・文化財の保存活用 に対する住民満足度 ※ (満足+どちらかといえば満足)	25%	35%

※湯前町まちづくりアンケートより

- 湯前まんが美術館の入館者数 712 人
- 令和3年度の状況 アンケート調査実施なし

第6次湯前町総合計画検証報告

■湯前まんが美術館の入館者数

内部検証	新型コロナ感染拡大防止のための休館が続き目標値を大きく下回った。
今後の方針	HP・SNS等の情報発信強化を図っている。With コロナで新生活対応開館をしているが、総体的に観光入込の回復を図る必要がある。出前まんが美術館など他所での展示・情報発信活動を計画している。
審議会意見	まんが美術館の運営について、コロナウイルスの感染拡大によって、減少したお客さんが戻ってくるような事業展開が望まれる。

■文化財行政・文化財保存活用に対する住民満足度

内部検証	令和3年度においては、アンケート等実施していないため、数値化不可
今後の方針	文化財行政に対する住民満足度の低下はないと推定している。同様の定期的アンケート等で満足度を計測していく必要がある。
審議会意見	—

IV 学識経験者意見

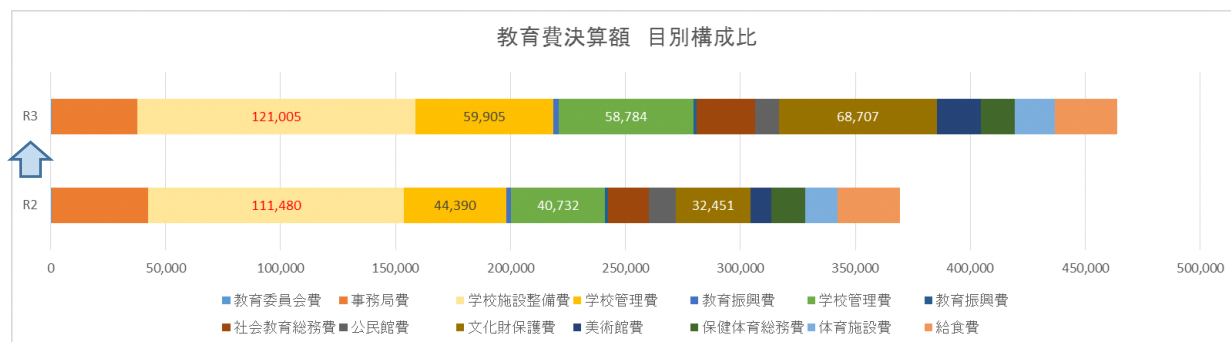
項目	意見	
学校教育の振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での教育目標達成に向けた諸事業 ・ 小中一貫教育 ・ 夢創出事業 ・ 入学祝金等の子育て支援事業 ・ 学校施設での新型コロナ対策
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ GIGA スクール構想事業の運用
社会教育の振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習事業
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少化での公民分館活動や生涯学習活動の中長期的対策等検討 ・ 夜間など生涯学習機会の拡充 ・ コロナ感染症対策と社会教育振興事業の停滞 ・ まんがのまちづくりにおける観光振興との連携
社会体育の振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の総合運動クラブ活動 ・ 地域活性化起業人制度を活用した健康づくり活動 ・ B&G 関連事業
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民全体の健康増進と体力維持 ・ 体育協会の増加 ・ 海洋クラブ会員の増加 ・ スポーツ振興指導員の負担検討
文化財保護と文化振興	効果ある事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財保護及び活用関係事業 ・ 文化庁芸術巡回公演事業 ・ 中学生伝統芸能継承活動 ・ まんがのまちづくり関係諸事業
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の紹介等情報発信強化 ・ 未整備文化財施設周辺整備 ・ 多世代への文化芸術振興施策
総括	<p>新型コロナウイルス対策が大きな課題となっているが、第6次湯前町総合計画等の各種計画に基づき事業継続・拡充を行っていく。</p>	

V 資料等

教育費決算額の対前年推移

単位：千円

教育費			項	目			
R2	R3	対前年		R2	R3	対前年	
369,338	463,958	94,621	教育総務費	教育委員会費	477	489	12
				事務局費	41,748	37,109	▲ 4,639
				学校施設整備費	111,480	121,005	9,525
			小学校費	学校管理費	44,390	59,905	15,515
				教育振興費	2,227	2,462	236
			中学校費	学校管理費	40,732	58,784	18,052
				教育振興費	1,433	1,173	▲ 259
			社会教育費	社会教育総務費	17,798	25,355	7,556
				公民館費	11,618	10,638	▲ 980
				文化財保護費	32,451	68,707	36,256
			保健体育費	美術館費	9,250	18,831	9,581
				保健体育総務費	14,455	14,830	375
				体育施設費	14,240	17,622	3,382
			給食費	27,038	27,048	11	



○主な事業費明細

単位：千円

区分	事業名	事業費	事業費の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
学校教育	地域と学校の連携・協働体制構築事業	576	368	0	0	208
	小中学生英語検定補助事業	111	14	0	0	97
	小中学生入学祝金	830	0	0	0	830
	小中学生修学旅行補助事業	290	0	0	0	290
	学校給食費補助事業	3,187	0	0	0	3,187
	高等学校等通学費補助事業	1,599	0	0	0	1,599
	小中学校GIGAスクール構想事業	26,833	26,833	0	0	0
	小学校長寿命化型改修事業	100,964	30,300	70,200	0	464
	中学校体育館トイレ整備事業	15,113	15,113	0	0	0
	中学校放送室改修事業	3,762	3,762	0	0	0
	小計	153,265	76,390	70,200	0	6,675
社会教育	分館施設及び活動振興事業	2,188	0	0	0	2,188
	生涯学習事業	1,873	0	0	0	1,873
	青少年健全育成事業	180	0	0	0	180
	地域偉人漫画制作事業	4,160	0	0	3,000	1,160
	小計	8,401	0	0	3,000	5,401
体 育 会	社会体育振興事業	5,783	0	0	0	5,783
	小計	5,783	0	0	0	5,783
文化財保護と文化振興	民俗文化財記録作成事業	200	0	0	0	200
	下里御大師堂保存修理事業	52,287	25,250	25,000	0	2,037
	城泉寺駐車場トイレ整備事業	13,567	10,000	0	0	3,567
	収蔵資料アーカイブ事業	4,249	2,730	0	0	1,519
	まんが美術館関連事業（特別展等）	1,986	0	0	505	1,481
	小計	72,289	37,980	25,000	505	8,804

総合計画（抜粋）

施策の大綱

5. 地域をつなぐ人づくり（教育・人材育成）

「地域をつなぐ人づくり」は、学校教育、社会教育、社会体育、文化財の保護と文化の振興を進めます。

学校教育の振興は、小中一貫教育を基本として、ICT活用や英語学習などの充実を図り、コミュニティ・スクールとして学校と地域が一体となり、豊かな自然・歴史・文化・伝統を受け継ぐ心豊かな人づくりと地域の担い手づくりを目指します。

社会教育の振興は、個人の価値を尊重し、一人一人が創意と生きがい、思いやりを持って過ごすことができるよう、町民の教養向上、健康増進を目指します。心豊かな生活と明るい地域づくりを推進することで多様な文化に触れ、生涯にわたって学び続けることができる機会を提供します。

社会体育の振興は、児童へのスポーツ体験機会などの提供から高齢者の健康づくりなど、老若男女を問わず町民一人一人がスポーツ活動を気軽に楽しむ生涯スポーツの振興を目指します。

文化財の保護と文化の振興は、伝統を継承し、町の歴史や文化に対する町民の意識向上を図るとともに、文化財の保護と観光資源としての活用で、郷土を愛する心を育みます。文化を継承する新たな担い手を育成し、新しい文化を創造する町民の意識の醸成を目指します。

5 地域をつなぐ 人づくり	学校教育の振興	1 校内研修・学力向上 2 小中一貫教育 3 地域とともにある学校づくり 4 人権教育 5 食育の推進 6 学校教育施設の整備
	社会教育の振興	1 青少年の健全育成 2 読書活動 3 人権教育 4 家庭教育 5 生涯学習・分館活動 6 社会教育施設
	社会体育の振興	1 スポーツ団体の充実・活性化 2 体育施設の整備・維持管理
	文化財保護と 文化振興	1 文化財愛護意識の向上 2 未指定文化財の調査 3 指定文化財の維持管理 4 文化団体の育成 5 湯前まんが美術館事業

第5章 地域をつなぐ人づくり

第1節 学校教育の振興

1. 現況と課題

①②③ 少子化やグローバル化、情報化の進展など子どもたちを取り巻く環境は激しく変化しています。そのような社会を生き抜くには、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などを育むことが重要だとされています。

④ またいじめの社会問題化や不登校の増加、インターネットを介した人権問題など多くの課題もあります。その解決に向け「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる」豊かな人間性の育成が求められています。

⑤ さらに、社会環境や生活環境の急激な変化は子どもの心身の成長に多くの課題をもたらしています。このことの解決に向け、健康づくりや体力づくり面の充実に向けた環境の整備も急務となっています。

⑥ 施設が抱える課題は、湯前小学校は外部改修工事を進め、早急な雨漏り対応などが必要となっているほか、老朽化が進んでいる各施設の改修も当面の課題となっています。

そのほか、環境教育やキャリア教育をはじめ、新たな教育課題が生じていて、それぞれの課題への対応も迫られています。

2. 基本方針

湯前小・中学校は、小中一貫校として9年間を見通した教育活動を展開し、児童・生徒に「生きる力」を育みます。さらに、小・中学校合同の学校運営協議会と湯前町地域学校協働本部が連携して地域とともにある学校づくりを進め、地域を愛する児童・生徒を育成します。

学校の施設・設備面では、校舎の長寿命化を図り、屋外運動場やICT機器をはじめとした教育環境の充実・整備に努めます。

3. 施策

① 校内研修の充実と学力向上

全国学力調査など各種調査の結果を分析することで課題を明らかにし、課題解決にむけた改善策を検討し、講師を招聘した校内研修などを通して授業改善に努めます。特に、ICT機器の活用は、遠隔授業を含むさまざまな活用方法について研修を深め、指導者個々の力量を高めながら、児童・生徒の学力の向上を図ります。

② 小中一貫教育の推進

小・中学校が共通の学校経営目標を設定するとともに、「目指す子ども像」の共有化を図ります。9年間の系統的な教育課程の編成に努め、合同での学校行事開催や中学校教職員が小学校で指導する「乗り入れ授業」などをさらに推進します。

小学校から中学校への滑らかな接続を図り、子ども一人一人に対応したきめ細やかな教育実践に努めます。

③ 地域とともにある学校づくり

小・中学校合同の学校運営協議会と地域学校協働本部のさらなる連携を図り、「地域住民による学校支援活動」や「学校から地域に向けた地域貢献活動」を推進し、地域学校協働活動を通して、地域住民とともに少子高齢化などの地域課題に取り組み、地域と一体となった学校づくりを進めます。本町の文化財・伝統文化との関わりを重視し、地域を誇りに思う子どもを育てます。

④ 人権教育の推進

すべての教育活動を通して、人権意識の向上と日常化を図り、豊かな感性や人権感覚の育成に努めます。特にいじめ問題は人権に関わる重大な問題であり、人間として絶対に許されない行為という認識に立ち、その防止・解消に努めます。その他の人権課題については、基本的認識の確立に努め、課題解決に努めます。

⑤ 食育の推進

農作物を栽培したり食したりする体験活動などを通して「食」に関わる人たちに感謝する心を育てます。学校給食共同調理場では、児童・生徒の健康増進と体位の向上を目指して安心・安全でバランスのとれた給食の提供と地産地消に努めます。さらに食育指導全体計画などにに基づき、家庭との連携を図り、清潔で楽しく明るい食事や望ましい食習慣の形成に努めます。

⑥ 学校教育施設・設備の整備

GIGA スクール構想に沿って教育の情報化に対応する学習環境の整備に努めます。また老朽化箇所の改修も取り組みます。また子どもたちが安心して過ごすことのできる環境づくりに計画的に取り組み、安心・安全で安らぎのある教育環境の機能向上と整備に努めます。

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
小中一貫教育に対する保護者の満足度 (第二期総合戦略より)	—	75% (令和6年度目標値)
地域学校協働活動参加者数	—	600人 (令和6年度目標値)

第2節 社会教育の振興

1. 現況と課題

①②③④ 社会情勢の変化などの不安や閉へいそくかん塞感、地域コミュニティの衰退や機能喪失が懸念される昨今、人には自己を支える生きがい求められています。一人一人が目的を持ちながら自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう生涯にわたって学習し、その成果を適切に生かす機会が必要です。

- ⑤ 現在、国、県、各種団体と連携し、社会教育事業の一つとして生涯学習体系の確立を目指しています。学習者の固定化や減少という課題に直面していて、年齢や就業状況に関わらず学ぶ機会を得ることができる環境づくりが求められています。時代や地域のニーズに対応できる講座の見直しとともに、地域で抱える課題に関する講座なども関係機関と連携を図りながら実施していく必要があります。
- ⑥ 社会教育施設や分館施設は、老朽化が進んでいるところもあり、計画的な改修と長寿命化が課題となっています。

2. 基本方針

本町の社会教育は教育基本法の理念に基づき、個人尊重の精神を基盤に生涯学習の視点に立って、町民一人一人が変動する社会に創意と生きがいをもって対応できるよう、自己の啓発や町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の向上と明るい地域づくりを目指します。また学習の場として安全に利用できるよう、老朽化した施設の改修を段階的に行います。

3. 施策

① 青少年の健全育成

同世代や異世代との多様な人間関係の中で体験活動などを通じて、社会的自立に必要な主体性や協調性を育むことができるよう、地域などでの多様な活動の機会・情報提供の充実に努め、青少年と地域住民の参画促進を図ります。

② 読書活動の推進

利用者のニーズに応じた図書の充実を図るとともに、子どもたちの読書活動を推進し、幅広い知識や豊かな想像力を育む環境を整えます。図書室の蔵書数増加に伴い、書架スペース・閲覧スペースなどがせまくなっているため、利用者がゆっくりと選書・読書できるよう増床を図ります。

③ 人権教育の推進

女性や高齢者、障がい者の人権など、人権に関する重要な課題について、研修会などを通して基本的な人権を正しく理解することに努めます。それぞれの人権問題を自らの問題としてとらえ、具体的な行動につなげていくよう啓発していきます。

④ 地域学校協働本部事業と家庭教育の推進

より多くのより幅広い層の地域住民、団体などが参画し、緩やかなネットワークを形成することで地域と学校が連携・協働した活動を推進し、子どもたちの生きる力を育むとともに、地域課題の解決に取り組む担い手育成に取り組みます。さまざまな団体との協働により「親の学び」など、保護者や家庭教育に関わる人への支援を推進します。

⑤ 生涯学習・分館活動の推進

既設の生涯学習教室は、常に見直しを行いながら幅広い年齢層が参加でき、町民のニーズに応じた教室講座の充実と指導者養成に取り組みます。

分館活動を推進し、連帯意識と郷土愛の向上を図るとともに、スポーツ活動や花づくり活

動などを通して地域づくりの拠点となるよう支援を行います。分館施設の中には建設から30年以上経過し老朽化が進んでいるところもあり、改修が必要な分館施設に支援を行います。

⑥ 社会教育施設の充実

中央公民館や農村環境改善センターなどの社会教育施設は、生涯学習や各種サークル活動、総合型スポーツクラブのほか、講演会や研修会、会議、レクリエーションなどに利用され、町民の学習活動や文化振興の拠点となっています。利用者の高齢化や生活様式の変化に伴い、施設の改修を段階的に行い、利用者にやさしい施設、安心して学習できる場を提供します。

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
生涯学習講座の参加者数	185人	245人
図書館利用者数	837人	1,500人

第3節 社会体育の振興

1. 現況と課題

スポーツを取り巻く環境は大きく変化していて、本町のスポーツ活動の基盤となっている体育協会では、会員数が減少傾向にありスポーツ離れが顕著に表れています。スポーツ活動の目的も競技力の向上から趣味や健康づくりへと変化し、スポーツニーズも多様化しています。

① 町民の健康づくりと地域コミュニティの形成を目的とした「総合型地域スポーツクラブ 湯前さわやかクラブ『だんだん』」では、社会体育に移行した小学校運動部活動に替わり「総合運動クラブ」を行うなど地域ニーズに応えながら教室を開催し、会員数は増加傾向にあります。今後は新しい生活様式を取り入れ、体育協会や湯前さわやかクラブ『だんだん』などの関係団体が協力し、安心して参画できる活動を推進していく必要があります。

② B&G 海洋センターでは、B&G 財団の協力を得て、さまざまな目的をもって集える地域コミュニティの拠点整備や老朽化箇所の修繕を実施し、施設機能の回復と機能向上を図り、多くの人に活用いただきました。町民グラウンドとテニスコートは建設から30年以上経過し、雨漏りや照明のLED化・照度不足、コート劣化など利用者の要望に十分に応えられない状況にあります。

2. 基本方針

町民が生活の一部として親しむ「健康と楽しみのスポーツ」と「スポーツを『する』『みる』『支える』」ことで、年齢や性別、障がいの有無などにとらわれることなく気軽にスポーツに親しみ、前向きで活力のある社会とスポーツコミュニティによる絆を育み、自己実現を図ることができる社会の実現を目指して、ニーズに応じたスポーツ振興施策を展開します。

3. 施策

① スポーツ団体の充実と活性化

スポーツ団体を母体として小学校総合運動クラブなどのジュニア育成や会員確保のための体験 教室の実施など活発な活動を促し、町民のニーズに応えられるスポーツ振興施策を展開します。全国の B&G 関係組織や町内のスポーツ団体などと連携し、地域スポーツ活動や体験活動の活性化と担い手育成を行うとともに、さまざまな世代が気軽に集うことができる町民体育祭などのスポーツ事業を実施することでコミュニティ形成にも取り組み、交流人口の拡大を図ります。

② 体育施設の整備、維持管理

体育施設は、安全に施設を利用していただき、利用者の使いやすい施設となるよう長期的な視点で改修などの計画を立てて整備を行うとともに適正な維持管理を行います。

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
人口に対するスポーツ団体への加入率	15%	17%

第4節 文化財保護と文化振興

1. 現況と課題

①②③ 本町には美しい自然と農村風景の中に、数多くの有形・無形文化財が残されています。これらの多くは長い歴史の中で、保存・継承されてきた遺産であり、町の歴史や文化を理解するために重要なものです。地区で守られてきた文化財も多く、地域住民の高齢化の中で、文化財の新たな保存・活用方法を確立することが求められています。

④ 文化団体に対する支援として、学習意欲の増大に伴い多様化するニーズに対応できるように、団体の育成支援や活動の場となる中央公民館などの施設の拡充が必要です。

⑤ 湯前まんが美術館では、那須良輔作品を展示するとともに「マンガ」にこだわった企画展示を開催するなど集客力をいかに高めるかが課題です。

2. 基本方針

ふるさと文化の振興のため、文化財の保存と活用に努め、文化団体の育成や湯前まんが美術館事業の充実を目指します。

3. 施策

① 文化財愛護意識の向上

中央公民館主催の「歴史の道探訪講座」や小学生の町内探険、特に東方組太鼓踊りや浅ヶ野棒踊りなどの無形民俗文化財は、小・中学校の総合学習の時間を利用して体験することで後継者育成や文化財愛護意識の向上を図ります。学校教育や総合的な学習の時間に有効な分かりやすい副読本の作成を検討します。

② 未指定文化財の調査

平成28年度に歴史的風致維持向上計画を、平成29年度には歴史文化基本構想を策定し、地域の習俗なども含めた文化財の基礎調査が行われました。これらを基にし、より詳細な調査を行い指定文化財にすべきものは指定に向けた取り組みを進めます。また個人所蔵の古文書などは把握数が少なく今後の発見の可能性が高いことから、町全体に啓発を進めます。

③ 指定文化財の維持管理

県指定重要文化財である下里御おだいしどうつれたりずし大師堂附厨子の保存修理事業を行いながら、事業の現地見学などで普及啓発活動を充実させます。また文化財とその周辺も含めた環境整備と防災管理を行います。

④ 文化団体の育成

文化協会など文化団体の育成や助成に努めるとともに利用する施設の拡充を進めます。

⑤ 湯前まんが美術館事業の充実

親しみやすいマンガの展示を進め、周辺観光施設との連携を図り広報活動を進めます。

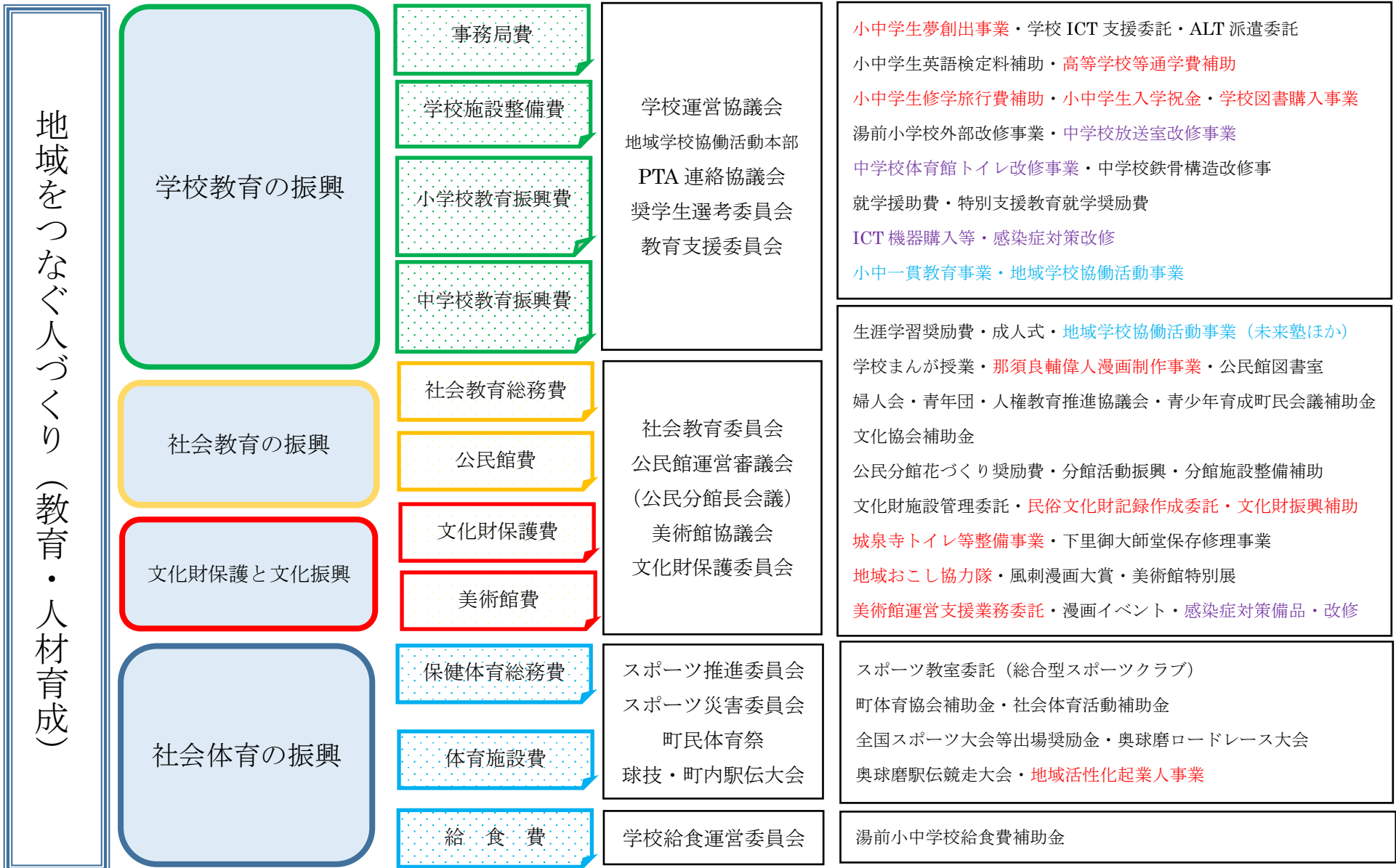
平成28年度に策定された「湯前まんが美術館等活用計画」を見直しながらその実現を図るとともに、収蔵資料のアーカイブ化を推進することで既存資料の活用を積極的に行います。那須良輔作品の常設展示や長年にわたり全国各地から風刺漫画を募ってきた風刺漫画大賞を継続するとともに、さまざまな人が世相をマンガとして楽しみ、地域の文化ともいえる「風刺漫画」をさまざまな世代に受け入れられるような企画展を行います。

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
湯前まんが美術館の入館者数	2,793 人	5,300 人
文化財行政・文化財の保存活用 に対する住民満足度 ※ (満足 + どちらかといえば満足)	25%	35%

※湯前町まちづくりアンケートより

令和3年度教育施策の体系図



令和3年度 地域と学校の連携・協働体制構築費補助事業 協働活動実施状況

年月日	活動名	主事務局	小学校						中学校								
			学校参加者数			地域参加者数			計	学校参加者数			地域参加者数			計	
			教職員	児童	小計	事務局	その他	小計		教職員	生徒	小計	事務局	その他	小計		
5月6日	中学校自転車点検	学校・協働本部			0			0	0			0		5	5	5	
6月7日	5年生種まき体験	JA青壮年部	2	31	33		5	5	38			0			0	0	
6月16日	小2生活科探検	学校・協働本部	3	28	31		3	3	34			0			0	0	
6月18日	5年生代掻き体験	JA青壮年部	2	31	33		1	1	34			0			0	0	
6月25日	5年生田植体験	JA青壮年部	2	31	33		10	10	43			0			0	0	
7月1日	小3校外学習(総合的な学習)	学校・協働本部	2	31	33		2	2	35			0			0	0	
7月8日	小5家庭科被服	学校・協働本部	2	31	33		4	4	37			0			0	0	
8月30日	4年生 いきいき交流	社会福祉協議会	3	38	41		14	14	55			0			0	0	
9月3日	小学校 まんが授業	教育委員会	3	38	41	2	1	3	44			0			0	0	
9月3日	中学校 まんが授業	教育委員会			0			0	0	4	55	59	2	1	3	62	
10月1日	小6家庭科被服	学校・協働本部	2	31	33		3	3	36			0			0	0	
10月2日	中学校伝統芸能継承(練習)	学校・協働本部			0			0	0	22	92	114	1	30	31	145	
10月8日	小6家庭科被服	学校・協働本部	2	31	33		3	3	36			0			0	0	
10月11日	中学校なずなの会	なずなの会			0			0	0	10	92	102		3	3	105	
10月11日	認知症サポーター養成講座	その他			0			0	0	5	37	42	5		5	47	
10月13日	小3町のお宝を探そう	学校・協働本部	2	31	33		7	7	40			0			0	0	
10月14日	JICA出前講座	その他			0			0	0	2	34	36		1	1	37	
10月20日	中学校2年職場体験	学校・協働本部			0			0	0	2	37	39	1	35	36	75	
10月21日	中学校2年職場体験	学校・協働本部			0			0	0	2	37	39	1	35	36	75	
10月26日	5年生稲刈り体験	JA青壮年部	2	30	32	2	16	18	50			0			0	0	
11月5日	5年生脱穀体験	JA青壮年部	2	31	33		12	12	45			0			0	0	
11月9日	小1秋探し	学校・協働本部	3	34	37		2	2	39			0			0	0	
11月11日	小3社会科スーパーマーケット	学校・協働本部	2	31	33		3	3	36			0			0	0	
11月12日	小学校なずなの会読み聞かせ	なずなの会	14	193	207		6	6	213			0			0	0	
11月13日	中学校文化祭(伝統芸能継承)	学校・協働本部			0			0	0	22	92	114	1	30	31	145	
11月17日	2年生 いきいき交流	社会福祉協議会	3	28	31		12	12	43			0			0	0	
11月26日	小2生活科探検	学校・協働本部	3	28	31		3	3	34			0			0	0	
11月28日	くま鉄部分再開イベント	湯前町	4	50	54	中学校でカウント			0	54	5	60	65	50	100	150	215
11月29日	小6家庭科調理	学校・協働本部	2	31	33		3	3	36			0			0	0	
12月14日	小1昔遊び交流	学校・協働本部	3	34	37		8	8	45			0			0	0	
12月18日	3年生 門松づくり体験	学校・協働本部			0			0	0	6	29	35		30	30	65	
					0			0	0			0			0	0	
夏季	夏季 地域未来塾	教育委員会			0			0	0		312	312	18	18	36	348	
冬季	冬季 地域未来塾	教育委員会			0			0	0		138	138	18	18	36	174	
			63	842	905	4	118	122	1027	80	1015	1095	97	306	403	1498	

地域参加者数	525
児童生徒	1,857
教職員	143
計	2,525